

JNSA標準化部会ビギナーズセミナー

# 「IoTセキュリティ標準化の動向を知る」 パネルディスカッション

菅野 哲

GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

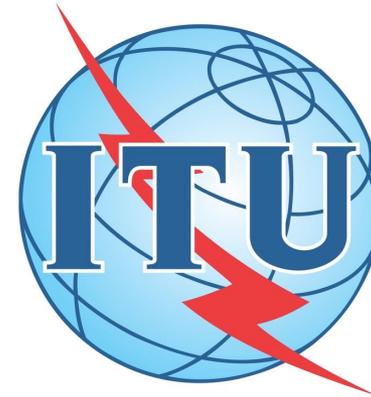
2022年11月16日

# 自己紹介

- 名前
  - 菅野 哲 (かんの さとる)
- 所属
  - GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社  
取締役CTO of Development
    - URL: <https://gmo-cybersecurity.com/>
    - Mail: [satoru.kanno@gmo-cybersecurity.com](mailto:satoru.kanno@gmo-cybersecurity.com)
- どんなことやっていた／やっているの？
  - 学生時代
    - 暗号プロトコルの研究、セキュリティベンチャーで勤務
  - 社会人時代：前職 NTTソフトウェア（現 NTTテクノクロス）
    - 暗号ライブラリや情報セキュリティ関連システム開発
    - IETFなどでCamellia関連の標準化活動（2008年7月～）
  - ここ最近
    - 「誰もが犠牲にならない世界を創る」を実現するために邁進中
    - 標準化団体での活動の機会を創出

# 具体的な標準化団体での活動

- 暗号技術を軸にインターネットプロトコルや安全な環境を実現するためのビルディングブロックでの活動を実施



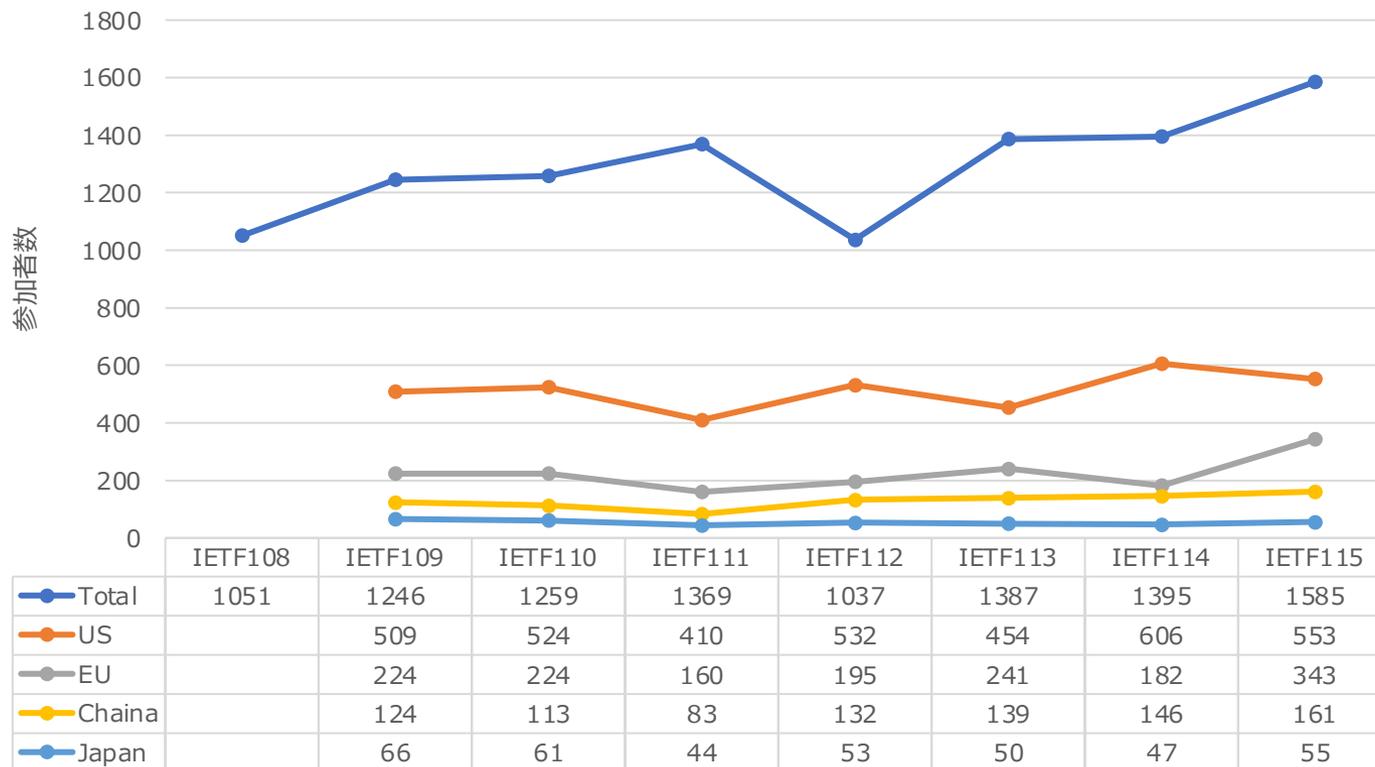
**TRUSTED<sup>®</sup>**  
**COMPUTING**  
**GROUP**

# パネルディスカッションに向けて 補足情報と考えたこと

# IETF Meeting参加者と各国の参加状況

- IETF Meetingは1200名前後
  - 日本からの参加者は「50名前後」かつ「いつものメンバー」...

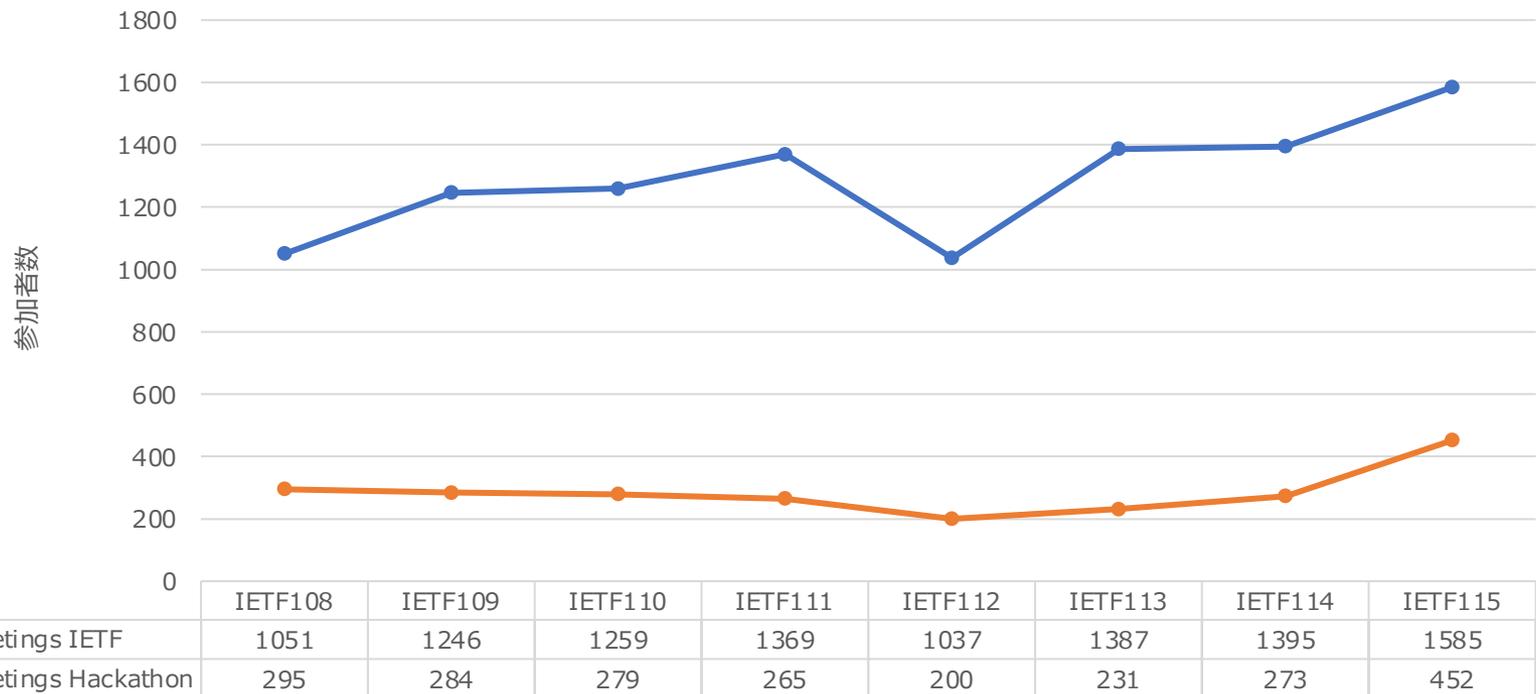
IETF Meeting 参加者数



# IETF MeetingとHackathon

- Hackathon参加者は250名前後
  - 直近で開催されたIETF115での日本人参加者は9名

IETF MeetingとHackathon参加者数



# 標準化仕様の3つの種別

- デジュール標準
  - De jure = 法的に正式
  - 国際的な取り決めが必要 / 正式な会議での議論および決定
  - 例 : ITU、ISO、JIS etc.
- フォーラム標準
  - 関心のある企業等が集まって集合知として作成
  - 例 : IETF、W3C etc.
- デファクト標準
  - De facto = 事実上の標準
  - 製品が広く受け入れられ、事実上の標準
  - 市場ドリブン

# IETFでの活動を通して感じていること

- 各国からの参加者に目を向けると若いエンジニアの参加/活躍が目立つ
  - 自ら手を動かしているのが伝わってくる
  - 日本人参加者もいるけど海外組織に所属
    - 日本に対する声
      - 自由や研究予算がなく魅力がない
      - いつ予算がなくなるか不安
- IETFという場所は「仕様」と「実装」の両輪で日本人の強みが活かせるかも
  - IoTセキュリティは「総合格闘技」で日本の強みあり？

# 今回の講演を通して考えたこと

- 各標準化団体における参加者の年齢層/参加者の役割の違いはあるのか？
  - 複数の標準化団体に参加している人は？
- 各標準化団体におけるIoTセキュリティを振り返ると、セキュリティを適用するターゲットとなっている「IoT機器」のイメージが掴みにくい？
  - 読者視点だと混乱するな...という印象
    - それぞれの標準化仕様の特性を理解していないと読みにくい？
- 各標準化団体で規定された標準化仕様の関係性/連携は理解しにくいのかもしれない
  - 各団体で適切な標準仕様の粒度/抽象度がありそう